

KASAI データバンク	人口 / 48,835 (+10)	世帯数 / 16,982 (+18)
	H21.7.31 現在 (前月比) 男 / 23,758 (-4)	女 / 25,077 (+10)
	7月の出生数 / 31人	死亡数 / 30人



▲市政の現状と課題を報告する中川市長

市政報告会を開催

7月29日、加西市は市政報告会を市民会館小ホールで開催し、就任丸4年になる中川市長が市政の現状と課題などをお話しました。

会場に来られた約150名の皆さんに、人口と市税の推移や改革マニフェスト、財政状況等の資料をもとに、4年間で累積債務を108億円削減できたことなど、進捗状況や当面する課題などを説明しました。

また、参加者からは職員の窓口対応、広域連携、特別職や議員報酬、学校統廃合などについての質問も出されました。

詳しくは市ホームページに掲載しています。

来客に播州織をPR。市役所応接室に播州織カーテン

7月10日、市役所3階の市長応接室に、県立西脇高校の生徒が製作した播州織カーテンが飾られました。平成元年の市庁舎建設時に掛けられた従前のカーテンは、約20年が経過し傷んでいました。今回、地元播州織をPRしようと、市で購入した生地を縫製を同校に依頼。生活情報科の服飾デザインを専攻する3年生の生徒10人が約1週間をかけ、白のレースとベージュの遮光カーテン各2枚を製作してくれました。

加西市から同校に通う3年生の石野愛弥さん(西谷東町)は、「光を取り入れる箇所にビーズを使うなどして工夫しました。会話を楽しめるような雰囲気になればいいですね」と笑顔で話してくれました。



▲製作した播州織のカーテンを背にする西脇高生と中川市長



▲公式ルールのもと行われた雪合戦

真夏の雪合戦開催

7月26日、玉丘史跡公園(玉丘町)で加西商工会議所主催による「真夏の雪合戦」が開催されました。

1チーム7人がコート内で玉をぶつけ合い、相手チームの全員に玉を当てるか、相手陣地の旗を取れば勝ちです。

4回目を迎えた今大会には、小学校高学年の「ジュニアの部」に8チーム、中学生以上の「一般の部」に20チームが出場し、雨でぬかるんだコート駆け回り、熱戦を繰り広げました。

■優勝チームは次の皆さん

ジュニアの部 base bas ball (代表: 森本うらら)
一般の部 雪だるま JAPAN® (代表: 黒田将之)

泉第三保育所の子供たちがトウモロコシを収穫

7月28日、市立泉第三保育所の0～5歳の子供たち27人が、近くで農業を営む上坂敏昭さん(若井町)の招待により、トウモロコシ畑で収穫体験を楽しみました。

子供たちは前日の雨でぬかるんだ高さ約2メートルもあるトウモロコシ畑で、葉陰に隠れたトウモロコシを見つけ、次々と手でもいでいきました。

「トウモロコシ大好き」と子供たち。収穫したトウモロコシは保育所のおやつや給食に出されました。



泉第三保育所の子供たち▶

かさい 夏っ彩 夢フェスタ2009 開催

8月2日、加西の新しい夏まつり「かさい 夏っ彩(かっさい) 夢フェスタ2009」が、兵庫県立フラワーセンターで開催され、約25,000人の来場者で賑わいました。

これまで、市役所周辺で開催されていたサイサイまつりを一新し、テーマは環境、地域資源の活用、市民参画でした。午前中、ハイブリッドカーによるエコラリーが開催され、遠くは山口県や愛知県からの参加者もありました。

園内2箇所のステージでは、30チームがよさこい踊りや和太鼓、プラスバンド演奏などを披露。また、熱気球のフライト体験やエコカー(電気自動車)試乗会が行われたほか、地元の市民グループ等がうどんや蕎麦などを出店した、かさい満載市場も大盛況でした。

まつりの最後の花火大会では、3,000発もの花火が打ち上げられ、夜空と水面を美しく彩り幕を閉じました。



▲賑わった、かさい満載市場



▲大人気の熱気球フライト体験



▲噴水前広場でのパフォーマンス



▲和太鼓と踊り。温室前ステージ



▲よさこい踊り



▲ラジオ関西の谷五郎さんによる中継



▲北条高校吹奏楽部の演奏



▲夜の部のステージ



▲夏祭りを盛り上げる夜店



▲噴水前広場をライトアップ



▲フィナーレを飾る3,000発の花火